

海自試験艦「あすか」一般公開

港湾課

平成27年11月2日（月）、海上自衛隊の試験艦「あすか」が宮古港に入港し、一般公開されました。同港の開港400周年を記念して宮古市が招待したものです。

「あすか」は新型装備の試験などを行う試験艦で、東日本大震災津波において、被災地域（岩手県大船渡市、陸前高田市及び宮城県気仙沼市）の支援にも従事しました。

11月2日（月）、3日（火）の一般公開で、約2千人の方が見学に訪れました。

着岸の様子



【試験艦「あすか」の概要】

基準排出量 4,250トン
全長 151.0メートル
全幅 17.3メートル
喫水 5.0メートル
速力 27ノット
(約時速50キロメートル)
定員 72名

歓迎式典



見学状況

